



赤 石

学校のめあて

心豊かで
たくましく
いつも進んで学ぶ子

TEL 25-4450 <http://www.isesaki-school.ed.jp/kitasyo/>

人権集会がありました

12月9日（火）の13時25分から体育館で人権集会を行いました。まず、人権集会の最初に各学年の代表になった人権標語の紹介がありました。

1年	だきしめよう ともだちのこころ じぶんのこころ
2年	ありがとう ごめんと言える そのゆうき
3年	考えよう あなたの気持ち わたしの言葉
4年	見つめよう 自分のことば 相手の気持ち
5年	見つけよう やさしい言葉 いいところ
6年	価値観ちがって当たり前 たがいの意見を 尊重しよう

次に校長から子どもたちに人権に関する話をしました。今回の集会では、子どもたちにいろいろな友だちと良い人間関係を築くためには、どうしたら良いかと言うことを1冊の絵本を通して考えてもらいました。使用する絵本は、せな けいこさんが書かれた「となりのたぬき」という話です。（この本の内容は裏面に載せましたので読んでみてください。）

子どもたちは学校生活を送る中で多くの友達がいて、その中には、気持ちが分かり合え、とても仲良しの親友と呼べる友達がいます。親友と呼べる友達がたくさんいるということは将来にわたって素晴らしいことです。一方で、考えが合わないことで、すぐにはやかになったり、仲良くできなかつたりする友達もいると思います。全ての人と親友になることは難しいですが、多くの友達と仲良くすることで学校生活が楽しくなります。そこで、「となりのたぬき」という絵本を通して、たくさんの人と仲良くなるにはどうしたらよいかを考えもらいました。

さて、この話の中でうさぎが仲の悪いたぬきをやっつけるためにお月様とした約束は、けっして許されるものではありません。でも、お月様はうさぎがたぬきに対する行動を変えることが、両者の関係を良くしていくということを理解していて、この話の中の提案をします。この話のうさぎとたぬきのような関係があるときに、ともすると大人は「誰とも仲良くしなさい。」と言いがちではないでしょうか。そのように言わないお月様にこの話の重みがあるように感じます。うさぎ自らがたぬきに対する対応を変えることが、相手（たぬき）が自分（うさぎ）に対するかかわり方を変えていくということを、この絵本は読む人に気付かせているのだと思います。このように、この話はとても奥が深いと思います。

人とより良い人間関係を築くことは子どもだけでなく、大人でも大切な事で、そして難しい事です。むしろ、いろいろな価値観や考え方がある程度確立している大人の方が難しいのではないでしょうか。人間関係が上手くいかないときは、まずは、自分自身の相手への接し方を見つめ直すことを心がけたいものです。

「となりのたぬき」の内容



とっても仲の悪いうさぎとたぬきがいました。うさぎは、となりのたぬきが大嫌い。この間も、「意地悪うさぎ！」「威張りやたぬき！」と言い合いしたばかりです。たぬきにぽかぽか殴られて、キーッとやり返して、たぬきはこぶが2つなのに、うさぎはこぶが3つもできたのです。

「だからたぬきは大嫌いだ！あのたぬき、ぽかぽかに殴ってこぶだらけにしたい！ペちゃんこにしておせんべいにしたい！どこか遠くへぶっ飛ばしたい！」

それを聞いていたお月様が、なぜ、そんなにたぬきを嫌うのかと問います。うさぎはたぬきがいつもとっても意地悪だと説明しました。するとお月様は言いました。

「それなら、私がたぬきをぽかぽかに殴ってこぶだらけにしよう。ペちゃんこにしておせんべいにしよう。どこか遠くへぶっ飛ばしてしまおう。その代わり、1つ約束しておくれ。ひと月の間、たぬきにうんと親切にしてやること。それができたら、私ちゃんと約束を守るよ」

次の朝、うさぎはたぬきに元気よく挨拶をしました。たぬきの周りを掃除してあげました。たぬきのためにお団子を買ってきました。たぬきは変だと思いましたが、威張っているいろ命令しました。それでもうさぎは、たったひと月だけだからと、何でもしてやりました。

そのうちたぬきは気づきます。

「うーん、あのうさぎって案外いいやつだったんだ」

たぬきはうさぎのために焼き芋を作ってあげました。小さくなった服をうさぎにあげました。お出かけしたときは、うさぎにお土産を買ってきました。

今度はうさぎが戸惑っています。

ちょうどひと月たったある日、うさぎはたぬきがみんなに話しているのを聞いてしました。

「あのうさぎ、本当はいいやつなんだ。あいつのためなら、ぼくは何でもするよ」

うさぎは、お月様にとんでもないことを頼んでしまったと気づきます。どうしよう、どうしよう…。その夜、お月様がにっこり笑って言いました。

「さあ約束だよ。たぬきをやっつけてあげよう。ぽかぽかに殴ってこぶだらけにするか。ペちゃんこにしておせんべいにするか。それともどこか遠くへぶっ飛ばそうか！」

うさぎは、

「やめてください！」

と涙を流してお願いしました。